



高麗中学校だより

日和田

令和5年・6月号

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！

学びを深める6月

先日3年生の数学の授業を訪問すると、ある生徒が「校長先生、ここが分からないんですけど」と助けを求めてきました。私は「なるほど、分からないから数学は面白いんだよね」と返すと、一瞬キョトンとした表情を見せましたが「そうですよね、もう少し考えてみます」…さらに続けて「考えるのが高麗中生だから」と言って黙々と取り組み始めました。

周りの生徒が教えようかと声をかけても「待って、もう少し考える」と、もう一頑張り。考えるからミラクルが起きる。素晴らしい学びの瞬間に立ち会えました。学びを深めよ高麗中生！



通信陸上での力走!

ペーパーレス化はテストにも

「タップで実感 アップでスマイル（本校卒業生作）」埼玉県学力・学習状況調査が実施されました。昨年度までと比べて大きく変わったのは調査がC B T化（ペーパーレス＝タブレットを使う方式）されたこと。C B Tは、近い将来高校入試、大学入試でも主流になる方式。

もはや、タブレット端末は生活必需品。生徒にとって学習に欠かせないツール（道具）。情報を集める、構想をまとめる、皆と協働して作業する、遠隔にいる人と情報を共有し話し合う、プレゼンする、などなど。

ちなみに高麗中生、プレゼン作成はお手の物。自分の考えを伝える手段として自在に活用しています。G I G Aは着実に浸透しています。

力強い学校応援団・P T A

5月20日土曜日、P T A有志（P T AのO Bや卒業生も参加）による作業がありました。まずは1階の美術室の机を3階に保管してあった大型机と入れ替え。次に、入れ替え後の小型机を解体。その後、校庭斜面の除草まで3時間。

大型機の移動だけでも半日かかると予想していたので、力強く作業するP T Aの皆さんに圧倒されました。「高麗中学校のためにお手伝いをするって楽しいですね」と作業しながら語る人あり。

「学校の困りごとを助けるP T A」会長を先頭にP T Aの皆さんの有言実行の学校支援に感謝します！

高麗の風景

・伝統を受け継ぐ

生徒朝会后、3年生が待ってましたとばかり体育館の戸締まりをはじめ。一通り終わり教室に戻る時の表情は、充実感でみなぎっていました。卒業生から受け継いだ伝統。それを誰から指示されるでもなく行動に移す3年生。こうして伝統は受け継がれるのだと実感した瞬間でした。よき伝統を未来につなぐ高麗中生、あっぱれ！

・こんなに…初めてです

先日、来校者が開口一番「こんなに生徒が挨拶してくれる学校は初めてです」と感激されていましたと、職員から伝え聞きました。外部の方から評価される、しかも良い評価をされることは校長として大きな喜び。何より、高麗中生が、社会で通用する力（人を感激させる挨拶ができる）を備えていることが嬉しくてたまりません。

コロナが解消に向かって今、マスクを外し、笑顔を見せられるようになってきました。高麗中生の素敵な笑顔と挨拶で、周りを幸せ一杯、感激一杯にしましょう。